



町内を練り歩く南ヶ丘保育園の園児たち（写真左）と、南ヶ丘第二保育園の園児たち（同右）

ヨッサー ヨッサー

「ドンドン」と太鼓の大きな音に合わせて、「ヨッサー、ヨッサー」の勇ましい掛け声が町内に響きわたる、八幡の夏の風物詩「太鼓まつり」が7月16

勇壮 ドンドン 太鼓まつり



屋形太鼓を担ぐ男山中学校の生徒たち

日、17日に開催され、多くの見物客でにぎわいました。同まつりは、石清水八幡宮の摂社・高良神社の例祭で、今から約190年前（文政年間）に、町内ごとに大きな屋形太鼓を作り、太鼓を打ち鳴らして練り歩く姿へ発展しました。まつり当日まで、市内の中学校や保育園でも生徒や園児たちが、みこしを担ぎ、元気いっぱい掛け声で町内を練り歩くなど、まちが一体となって太鼓まつりの雰囲気を高めています。

2人対10人で対戦する東さん(右)と生徒たち



車椅子バスケット授業 障がい理解

京都八幡高校北キャンパスで7月6日、車椅子バスケットボールの第4回の授業が行われ、健康科学コースの3年生13人が参加しました。

同授業は、車椅子競技を体験し、講義や実技を通じて障がい者および障がい者スポーツへの理解を深めることが目的。車椅子バスケットボールクラブ「京都アップス」の山本英嗣さんと東武志さんを講師に招いて、全4回で行われました。

授業最終日となるこの日は、生徒同士5人対5人の試

合の後、一度に10人の生徒が山本さん・東さんペアと対戦。生徒たちは、第1回の授業では初めての車椅子にとまどったりもしていましたが、練習を重ね、この日は、2人に「攻めづらい」と思わせるほどの粘り強いプレーを見せていました。

車椅子競技を学んだ生徒たちは、これからシッティング（座ったままの姿勢で行う）バレーボールなど、さまざまな障がい者スポーツを体験し、障がいへの理解を深めていきます。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

味の決め手は、親子の絆

7月16日、親子食育クッキングが男山公民館で行われ、近くの小学校に通う1年生と5年生の親子連れが参加しました。この講座は、料理の基本となるだしの取り方や食に関する知識を身に付け、料理を通して親子の絆を深めてもらおうと同公民館が企画。八幡市栄養士研究会の井村貴枝子さんを講師に招いて行われました。

はじめに、井村さんが食材に含まれるうまみ成分の話やだしの取り方を説明。実際に昆布や煮干しのだしを取りながら、野菜や魚の調理に取りかかりました。子どもたちが慣れない手つきで食材を切っていると、親たちが時折手を添えるなど、力を合わせて調理していました。



じゃがいもの皮をむく子どもたち

七夕ライトアップ 短冊・灯籠に願い事

七夕をひかえた7月3日、石清水八幡宮で「七夕ライトアップー願いを光にこめてー」が開催され、市内外から訪れた多くの家族連れなどでにぎわいました。

このイベントは、七夕に素敵な思い出を作ってもらおうと、NPO法人「TOSSいちばん星」が企画。

第1部では、「八幡さん」の宝物巡り。約140人の子どもたちが参加し、本殿内の特別見学や、ウォークラリーで石

清水井やエジソン記念碑など、境内の名所を探検しました。

第2部では、七夕ライトアップが行われました。参加者約1000人が、短冊や灯籠用の和紙に将来の夢や家内安全など、願い事を書き、水をエネルギーに変えて光るLEDライトを短冊に結び付けたり、和紙と組み合わせて灯籠を作ったりしました。

その後、参加者たちはそれぞれを境内に飾り、一緒に記念



短冊作りをする参加者たち

撮影。ライトで照らされた短冊や幻想的な灯籠の灯りを笑顔で見つめていました。

境内に飾られた灯籠

